

鹿児島県育成ジャガイモ有望系統「しまクイーン」の特性

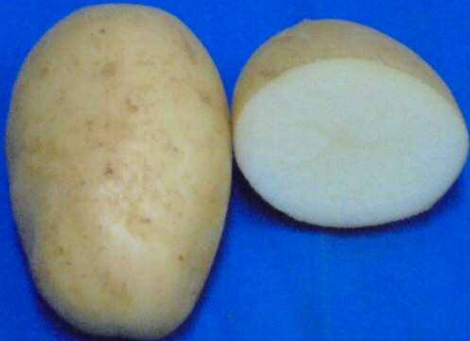
ジャガイモ「しまクイーン」は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有する長系の有望系統

背景・目的

- ・本県のジャガイモ既存品種はジャガイモシストセンチュウ(以下、シストセンチュウ)やそうか病など病虫害抵抗性がない
- ・シストセンチュウは全国に被害が拡大しており、本県への侵入の危険性が高まっている
- ・北海道育成品種は本県では生産性が低く、本県に適した生産性の高いシストセンチュウ抵抗性を有する品種の育成が急務

成果の内容

「しまクイーン」



母親「ニシユタカ」×父親「アローワ」
平成30年県農業開発総合センター育成

【特性】

- ・シストセンチュウ抵抗性を有する
- ・形状は「ホッカイコガネ」と同じ長系の“卵～長卵形”
- ・皮色は“淡ベージュ”，肉色は“白”
- ・奄美地域での収量は「ホッカイコガネ」以上
- ・外観は目の深さが極浅く、表皮が滑らか
- ・そうか病抵抗性が“強～やや強”
- ・食味は“やや良”で優れる

病虫害抵抗性

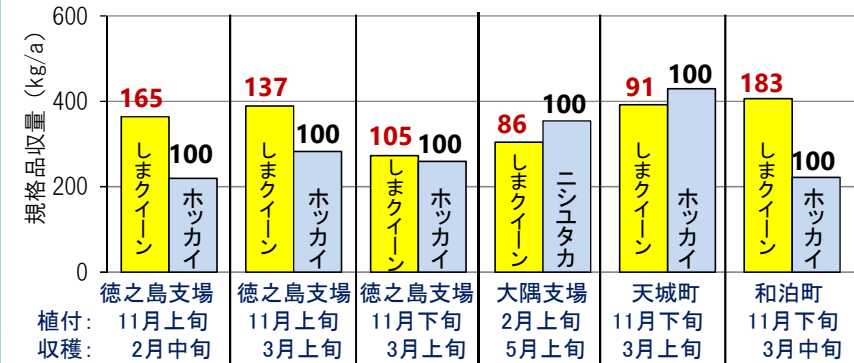
品種・系統名	ジャガイモシストセンチュウ抵抗性	そうか病抵抗性	疫病抵抗性	塊茎腐敗抵抗性
	しまクイーン	抵抗性	強～やや強	やや弱～弱
ホッカイコガネ	感受性	—	やや弱	中～弱
ニシユタカ	感受性	弱	やや弱	やや強～中

調理特性

蒸しいも		
肉色	肉質	食味
白	やや粘	やや良
明黄	中	中
黄白	中	中

導入メリット

県内各地・作型における収量性



「ホッカイコガネ」以上の収量でシストセンチュウ抵抗性を有することから、シストセンチュウ抵抗性のない長系の「ホッカイコガネ」、「メークイン」からの切り替えが可能



シストセンチュウ抵抗性品種への切り替えによるジャガイモ生産の安定化

期待される効果

ジャガイモの生産安定, 生産性向上

普及対象・範囲

沖永良部島を中心とした長系ジャガイモ生産者

鹿児島県農業開発総合センター大隅支場, 徳之島支場, 熊毛支場, バイオテクノロジー研究室